

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : Camosun College

留学期間 : 平成 27 年 8 月 24 日 ~ 在学中

私が留学を始めてからちょうどこの間で一年が経ちました。思い返すとたくさんのことがありましたがあっという間の一年でした。

昨年 2015 年の夏に、家族や友人にしばらくのお別れをして、カナダでひとり、バンクーバーから少し離れたバンクーバー島にあるビクトリアでの学生生活を始めました。

しかし、到着したその日からホームシックになってしまい、最初の 1、2 ヶ月は日本での生活の何もかもが恋しくて、とても辛い思いで過ごしたのを覚えています。

そんな中でも、ルームメイトやクラスやクラブ活動で友人ができ、だんだんと自分の中で感じていた孤独感は薄れていきました。私の場合は、ルームメイトが同じように自国を離れて生活していたり、友人も親元を離れて生活していたりと、同じような経験をしている仲間が周りにいて、私の話に共感してくれたのがとても大きな救いになったと思います。日本の大学とは違い、留学や転校などの制度が比較的簡単（柔軟）なので人の入れ替わりもとても激しく、出会って仲良くなってはすぐにお別れの繰り返しも多いですが、離れたあとでもお互い支え合える大切な友人たちがたくさんできました。それに多文化で多国籍なカナダならではの、様々な人種や文化、背景を持つ人たちと出会えることはとても貴重な経験になっていると実感しています。学校だけでなく、街を歩けば必ず英語ではない言語が聞こえますし、バスに乗れば本当に様々な人種の人たちを見かけます。そんな中での授業なので、全く異なったアイデンティティーを持つ人たちの意見が飛び交います。面白くないわけがありません。

普通の授業のほうは、母国ではない英語な上に、アカデミックな単語が次々と飛び出してくるので、ついていくのはやはり苦労しますが、なるべく学期の早い段階で要領をつかんでクラスごとに自分なりの学習スタイルをしっかりと確立するように心掛けています。課題も学期のはじめに前もって通知してくれる先生も多いので、なるべく早めに手をつけられるものから終わらせていくようにしています。ぼーっと後回しにしているとあっという間に 5 週 6 週とすぎていって、中間や学期末といった課題の提出期限になってしまい、結果提出はギリギリできても、納得のいく出来にならなかったということになりかねません。質問も同じで、授業中わからないところがあってもあとで調べよう、先生にあとで聞こう、と後回しにしているとどんどん溜まっていく一方です。なかなか学期中は勉強にバイトに忙しくて、私も何かと後回しにしてしまうことが多く、後悔することも少なくはありません。それに加えて、私の学校では提出物や課題などはほとんどがオンラインで通知され、提出やクイズなどもクラスで直接教授に提出するのではなく、インターネットサイトですませしまうので、少しでも見逃してしまったり、時間になると自動的に締め切られてしまうので期限を 1 秒でも過ぎてしまうと、成績に大きなダメージになってしまいます。

そんな生活のおかげかタイムマネジメントやスケジューリングのスキルは格段に鍛えられたと思います。

課題は、私は文系のクラスが多いので、レポート系のものが多く、毎日のように文章を書いています。理系のクラスでは授業中にコンピューターを使つての課題が多いように思います。

正直今、留学二年目に突入し、ちょうど良い区切りとしてこの先の将来について考え悩むことも多くなりました。やはり留学のすべてが思い描いていたとおり順調に、とはいかず、一年経った今でも未だに自分の言いたいことがうまく伝えられずに歯がゆい思いをしたり、失敗をしまって落ち込んだりも少ないわけではなく、日本の家族や生活が恋しくなってしまう日もあります。それでもこうして、自分の育ってきた環境も言語も文化も全く違う土地で、何度も壁にぶちあたりながらも自分なりに解決策を見出そうと考え、行動しようと努力して得た経験たちは簡単に手に入れられるものではなく、貴重で、これからの私の人生において大きな支えに必ずなると確信しています。

それに、カナダという多文化社会の環境は、自分は一体他の人とどう違うのか、私らしさ、私にしかできないことってなんだろう、といった自分自身について頻繁に考えさせられます。私の留学生活は自分のことを見つめ直す、自分の価値を考え直す素晴らしいチャンスにもなっています。自分の弱点、そして強みを知ることが自分にもっと磨きをかけるための一番の近道でしょう。

勉強はもちろんですが、留学で身につけた自己推察力、時間管理能力、そしてなにより忍耐力と自分で何とかしないと、という行動力は将来も社会に出てからきつと大いに役立ってくれると思います。

留学で得たことだけではなく、反省した沢山のこと、それらをちゃんと次の成功につなげられるように、失敗で終わってしまわないように、この留学が恵まれた貴重な経験だということを忘れずにしっかりと引き続き勉学に励んでいきたいと思っています。